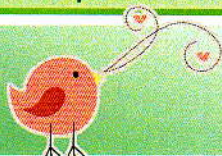




# あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



## 長縄跳びで育つ力

主幹教諭 稲葉 八重子

「はっ!はっ!はっ!はっ!はっ!はっ!」元気な声が校庭に響きます。6年生は、スピードに合わないので「はっ!はっ!はっ!はっ!」となるそうです。どちらも、長縄記録会に向けて、一生懸命練習に励んでいるときのかけ声です。休み時間だけでなく、朝や放課後の時間にも練習に取り組む様子が見られます。

杉並区は、6年生が参加する連合運動会の種目や学校毎に参加する長縄グランプリなど、長縄跳びに取り組ませる機会を多くつくっています。どうして長縄跳びに取り組ませるのか?長縄跳びにはどんな効果があるのか?考えてみようと思いました。

長縄跳びの練習は、一人や二人でやることはできず、少人数でやってもあまり意味がありません。クラスみんなやチームのみんなまで練習することが大切になります。大人数になれば、いろいろなタイプの人が集まります。楽しくやりたいと思う人。絶対いい記録を出したいと思う人。みんながやるからやるよと思う人。一人一人のモチベーションが少しずつ違って当然です。毎日記録会に向けて練習に取り組む中で、ちょっとした気持ちのすれ違いがあることも容易に想像できます。

そんな中で必要になる力の一つが「共感する力」だと思います。「共感する力」のある人は、苛立ちや怒りを感じにくいと言われます。そして、安易に決めつけるようなことが少ないようです。一緒に練習している友だちは、自分とまるっきり同じではない。一人一人違うことを考えていて、同じことを体験しても感じ方が違う。どんなことを考えているのか感じているのか、想像することはとても難しいです。でも、みんなまで長縄跳びを練習し記録を目指すとき、友だちのことを思い考えないわけにはいきません。自分さえ跳べればいいわけではなく、次に跳ぶ人が跳びやすいように考えて跳びます。先頭に並んだ人は、後に続く

人が混み合わないような、助走しやすいようなルートで八の字を描かなければなりません。縄を回す人は、記録だけを気にして速く回すのではなく、跳んでいる友だちのタイミングにもたくさん注意を払っているでしょう。

成長とは、人間が生まれつきもっている自己中心的な傾向を乗り越える能力を育てることです。その能力の一つの「共感する力」は、自然と身に付くというよりも、学んで身に付けるスキルだそうです。長縄跳びは、「共感する力」を学ぶためのよい学習場面になっていると思いました。

先の天沼便りで、杉並区「特定の課題に対する調査」の結果と考察についてお知らせしました。その中で、意識・実態調査の結果からは、自己の受容に対する肯定率が低いことが分かりました。自己の受容＝自己肯定感について考えようと読んだ本に「共感する力」のことが書かれていました。(興味を持たれたら読んでみてください。(「子どもの「才脳」を最大限に伸ばす「自己肯定感」を高める子育て」大和書房)自己肯定感を高めるために必要になる力の一つが「共感する力」です。他「キレイな力」「立ち直る力」「自分の心を見る力」も自己肯定感の基本となる力です。自己肯定感が高い人は、逆境にあっても順応性と回復力を発揮できます。そして、自己肯定感が高まっているときにこそ、大きく素晴らしい成長ができます。

長縄記録会をとおして、子どもたちが、「共感する力」を学び、自己肯定感を高め、練習の成果を存分に発揮できるとよいです。

最後に。連合運動会のクラス対抗長縄跳びで、6年生は断トツの記録で1位から4位を制覇しました。素晴らしかったです。

### \*\*\* 今月の目標 \*\*\*

#### 生活

学校をきれいにしましょう  
(2学期の反省をしましょう)

#### 保健

かぜやインフルエンザを予防しよう

#### 給食

みんなで楽しく食べましょう



# 12月の行事予定



日	曜	行事予定
1	土	ハピさた
2	日	
3	月	全校朝会 長縄記録週間始
4	火	長縄 HS フォ
5	水	長縄 委員会⑧(アルバム撮影)
6	木	5時間 長縄 安全指導
7	金	5時間 長縄記録週間終 長縄記録会 保護者会全 15:00
8	土	ハピサタ
9	日	
10	月	全校朝会 給食費引き落とし
11	火	かけ足136 裁判傍聴・国会見学6 HS フォ
12	水	4時間 読書 56
13	木	集会⑥
14	金	かけあし245 書き初め①
15	土	
16	日	
17	月	健康朝会(保健) 書き初め②
18	火	4時間 かけ足136 書き初め③
19	水	読書 34 クラブ活動⑧
20	木	5時間 読書 書き初め④
21	金	5時間 かけ足245
22	土	火曜5時間 読書 終業式 給食終 大掃除
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	振替休業日
26	水	冬季休業日始
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

冬季休業 12/26～1/7  
 始業式 1月8日(火)  
 給食始・5時間授業

## 学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまめまワンダラズ)の活動を紹介しす

5年生 AKP  
(天沼 会社経営 スロジェクト)

AKPとは、毎年5年生が学年全体で株式会社を作り、保護者が株主となり、商品を作し、販売する、1年間をかけて行うキャリア教育の取組です。

6月、10月に品評会が2度行われました。1度目は各グループで商品を決めるべくプレゼンを行い、今年度はキャンドルに決定しました。2度目は街頭でのインタビューをした後、キャンドルならばどんなものが良いかを、また各グループでプレゼンし、みんなで納得した商品を決定したところです。

今後は商品を制作したり、広報活動を考えたり…株式会社の一員、一役職としての経験をしていきます。

支援本部は、プレゼンの審査員や、市場調査時の引率、今後の販売場所などのコーディネートをしています。

販売は3学期になります。教会通り、ことぶき通り等で地域の方々にお世話になり、児童たちが販売します。授業の一環であることをご理解いただき、応援してください。



## 12月の朝遊びカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

## 学校運営協議会コーナー

### ～学校評価アンケートのお願い～

学校運営協議会では、毎年1月に児童・保護者・教職員・地域を対象とした「学校評価」のアンケート調査を行っています。これは、学校運営方針に基づく天沼小学校の様々な取組について皆様からのご意見をいただき、その結果を受けて一年間を振り返るとともに、次年度の学校運営に活かしていくというものです。

今年度の方針は『おもしろいこと、しよう』を旗印として、学ぶ面白さや体験する面白さを通じて、すべての人とかかわって生きることの喜びを感じ、この地域の構成員としてよりよく生きていこ

うとする人間の育成を目指して、基礎学力の定着、豊かな人間性の育成、心と体の健康づくりなど21項目を掲げております。

2学期の終業式の日、今年度のアンケートを配布させていただきますので、5月にお配りした『「天沼小学校がめざす教育」のご紹介』を参考にしながらご回答ください。

学校運営協議会は地域とともにある天沼小学校の教育をさらに充実させるべく、進んでまいりますのでご協力をお願いいたします。

## ～新たなる挑戦～

今年度の校内研究は「自ら深く考える力を育む情報教育 ～考えるっておもしろい～」を研究主題として進めています。学習課題に対して、子供たち一人一人が自分の考えをもち、課題解決していく力を身に付けていくことを目指しています。また、今年度も東京都プログラミング教育推進校となりました。プログラミング的思考を伸ばすための授業を計画し、杉並区全体に広げていくことも目指しています。

プログラミン的思考とは、2020年度から施行される学習指導要領に明記され、これからの時代に求められる力となりました。プログラミング言語を学ぶのではなく、生活にプログラミングの考えが使われていることを知り、論理的な思考を育むことが重要です。そのため、体験的な活動を中心にした授業になるように取り組んでいます。今年度は、1年生、6年生、4年生の研究授業を計画しました。もちろん、他の学級でも同様の学習を行っています。ここでは、10月の1年生、11月の6年生の授業の様子を紹介します。

10月29日

### 1年1組「PETS(ペット)を使おう」

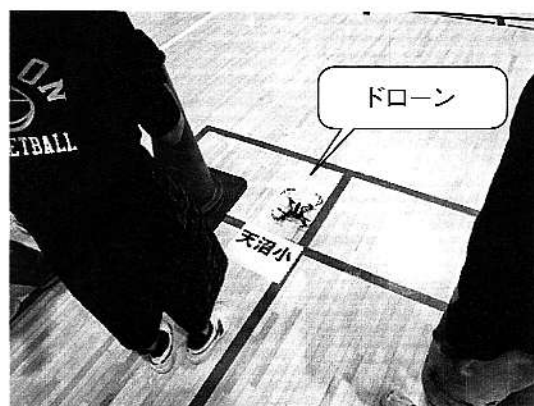
「PETS」を教材として活用しました。子供たちが考えた問題を他のグループが解いていきます。友達とPETSの動きを考え、試行錯誤を繰り返しながらゴールへの道筋を見つけだすことができました。1年生がPETSの授業を行うのは初めてでした。



11月14日

### 6年1組「ドローンを活用した未来のまちづくり」

総合的な学習の時間で取り組んでいる「わたしたちの天沼」と関連させた授業でした。地域の課題を解決するためにドローンが活用できないかを考えました。課題解決に向けたプログラミングになるように内容を工夫していました。天沼小でドローンを使うのは初めての試みでしたが、5年生までに身に付けてきたプログラミング的思考が生かされた授業になりました。

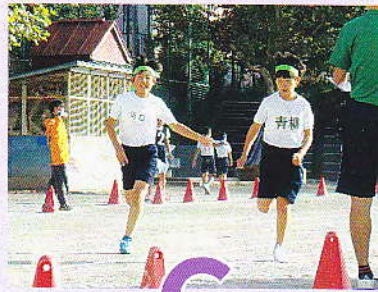


1月31日には4年1組の授業も予定されています。

プログラミングの授業を通して、子供たちが「考えるっておもしろい!」を実感できるように、今後も果敢に挑戦し、カリキュラムの充実を目指して学校全体で取り組んでいきたいと思います。



グループで話し合い



10月31日(水)に沓掛小学校にて、連合運動会が行われました。

連合運動会とは、桃井第五小学校、八成小学校、沓掛小学校、杉並第九小学校、天沼小学校の6年生が、体力の向上を図るとともに、日頃の体育の成果を発揮し、スポーツに対する関心と親睦を深めることを目的として毎年行っている運動会です。

種目は、「長縄」「1000m走」「走り幅跳び」「100m走」「4周リレー」の5種目です。

「長縄」は、各学級単位として行われました。運動会終了から約3週間、朝の時間や休み時間などを活用し、子供たちは一生懸命練習に励んできました。練習では、長縄に取り組んでいる様子を互に見合い、よさを認め合いながら、力を

6  
わん

高めていきました。本番では、4クラスが上位を独占し、練習の成果が存分に発揮されたことで、子供たちは達成感でいっぱいとなりました。

その他の競技も、朝の時間を活用し、先生方と一緒に練習を積み重ねてきました。その結果、1000m走や100m走、4周リレーでは、上位に入賞することができました。

長縄やその他の競技で、結果を残すことができたのは、子供たち一人一人の努力はもちろんありますが、競技に取り組んでいないときの応援が大きな力になっていました。

連合運動会で互いに切磋琢磨したことや、互いのがんばりを認め合った経験を、日々の学校生活に活かせるよう、取り組んでいきます。

# 連合運動会



10月11日(木)に和田堀公園陸上競技場にて特別支援学級・特別支援学校連合運動会を行いました。毎年杉並区内の特別支援学級(14学級)と特別支援学校の児童・生徒、約300名が集まって、体を動かしながら交流を深めるよい機会になっています。

こだま学級の児童は、50メートル走と100メートル走に出場しました。全員がゴールを目指して一生懸命走り切ることができました。ゴールでは、手作りのメダルをもらい、満面の笑みでした。全員で行う「今日から友達」では、他の学校の友達と手を

つないで、歌と踊りを楽しみました。「ひろってあつめて」では、チームカラーの赤い玉を一生懸命集めました。どの種目も頑張ることができました。

こだまの卒業生にも会うことができ、久しぶりの再会を喜んでいました。

天沼小学校のPTAの皆様には特別支援の連合運動会の開催にあたり、毎年係の仕事を引き受け、支えてくださっています。ありがとうございます。こだま学級の保護者の皆様にもたくさんのご声援をいただき、子供たちの励みになりました。